

事業者排出量削減計画書制度の第1計画期間実績について

1 第1計画期間の削減実績について（平成23年度、24年度実績）

(1) 平成23年度及び24年度の温室効果ガス排出量

平成23年度、24年度のいずれにおいても、特定事業者が自ら計画した削減目標及び制度で定める目標削減率（基準年度排出量から産業：▲2%、運輸：▲1%、業務：▲3%）を達成している。

表1 平成23年度及び24年度の温室効果ガス排出量

(単位：万トン-CO₂)

年度	部門	事業者数	計画書の目標値との比較			基準年度排出量との比較	
			目標値	実績	実績-目標値	基準年度	実績-基準年度
				排出量	増減率(%)	排出量 ^注	増減率(%)
23年度	合計	146	181.2	175.7	▲3.0	185.8	▲5.4
	産業	36	43.8	42	▲4.3	45.3	▲7.5
	運輸	25	37.3	36.7	▲1.6	37.8	▲2.9
	業務	85	100.6	97	▲3.6	102.7	▲5.5
24年度	合計	149	181	172.5	▲4.7	186.2	▲7.4
	産業	36	43.6	39.1	▲10.3	44.7	▲12.4
	運輸	25	37.2	35.5	▲4.6	37.8	▲6.1
	業務	88	100.5	97.9	▲2.6	103.7	▲5.6

注1：基準年度排出量は、原則平成20～平成22年度の3箇年平均値を採用し、事由がある場合のみ平成22年度単年度の実績値である。

注2：電気使用に伴う温室効果ガスの排出係数は、平成21年度の実排出係数を用いており、計画期間中は固定している。

(2) 第1計画期間の削減実績の分析について

総排出量においては、平成23、24年度ともに全ての部門で目標削減率を達成しているものの、事業者ごとの削減実績の差が大きく、また、部門ごとでも削減率の分布の傾向が異なる。

第1計画期間の削減実績の結果を分析するに当たり、景気の動向、事業活動の変化、設備の更新、運用の改善、電力需給ひっ迫時における節電対策等の様々な要因を考慮する必要がある。第1計画期間第3年度の実績を把握した後に詳細な分析を行い、計画期間のとりまとめを行う。

※平成25年度の実績については、平成26年7月末までが提出期限となっている。